

- 問1 古代エジプトにおいて、天体観測が発達し「太陽暦」が作られた背景として、ナイル川の自然環境と農業の関係から説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. ナイル川の急激な水量の減少を予測し、砂漠化を防ぐための灌漑施設を稼働させるため | 2. ナイル川の上流にあるピラミッド建設現場へ、石材を運ぶための増水期を知るため | 3. ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため | 4. ナイル川の交易路が地中海とつながる時期を特定し、麦の輸出額を増やすため |
|--|--|---|--|
-
- 問2 古代文明が共通して大河の流域で発達した理由と、その社会の特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。 | 2. すべての文明において碁盤の目状の計画的な都市が建設され、海岸沿いの交易によって得た富を使い、市民による民主的な議事堂を建設した。 | 3. 赤道周辺の熱帯地域において、自然の産物を利用した狩猟採集を行い、すべての住民が平等に暮らすための巨大な宮殿を建設した。 | 4. 山岳地帯の厳しい自然環境に適応するため、牧畜を中心とした生活を送り、文字を持たずに口伝のみで法律や歴史を伝承した。 |
|--|---|--|--|
-
- 問3 アレクサンドロス大王の東方遠征によって、ギリシャの文化とオリエントの文化が結び付いて生まれた文化を何と言いますか。また、その文化の影響が、奈良県にある法隆寺のどのような場所に見られるとされていますか。正しい組み合わせを選んでください。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. ルネサンス文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画 | 2. ルネサンス文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像 | 3. ヘレニズム文化であり、法隆寺の五重塔に納められた塑像 | 4. ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画 |
|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
-
- 問4 孔子を始祖とする儒教の考え方は、日本の歴史学や政治にも大きな影響を与えました。江戸時代、儒学の知識を背景に、日本の政権交代の歴史を古代から徳川家まで「五変九回」という独自の視点で分析した『読史余論』を著した人物は誰か。 (2022年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 本居宣長 | 2. 福沢諭吉 | 3. 新井白石 | 4. 徳川家康 |
|---------|---------|---------|---------|
-
- 問5 古代文明における文字の記録方法と、その文明が成立した地理的条件の組み合わせとして、メソポタミア文明について正しく述べたものはどれですか。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 河畔に自生するパピルスという植物から紙のようなものを作り、そこに鳥や蛇などを模した文字を書いた。 | 2. 大河からもたらされる良質な粘土を板状にし、鋭い線の組み合わせによる文字を刻んだ。 | 3. 占いの道具として、亀の甲羅や牛の骨を使い、そこに複雑な線を組み合わせで刻んだ。 | 4. 川の周辺で採れる石に、主に商業活動の記録として、動物や人物の姿を彫り込んだ。 |
|---|---|--|---|
-
- 問6 ティグリス川とユーフラテス川の流域で栄えたメソポタミア文明において、柔らかい粘土板に葦の茎などを押し当てて刻まれた文字を何と呼ぶか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|---------|---------|
| 1. フェニキア文字 | 2. くさび形文字 | 3. 甲骨文字 | 4. 象形文字 |
|------------|-----------|---------|---------|
-
- 問7 古代エジプトでは、ナイル川の定期的な氾濫の時期を予測する必要から天文観測が発達しました。この文明で生み出された、1年を365日とする暦と、王の記録や寺院の壁画などに刻まれた象形文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------------------|-------------|-------------|
| 1. 太陽暦と神聖文字（ヒエログリフ） | 2. 太陰暦と神聖文字（ヒエログリフ） | 3. 太陽暦と甲骨文字 | 4. 太陰暦と楔形文字 |
|---------------------|---------------------|-------------|-------------|
-
- 問8 15世紀末のヨーロッパで作られた地球儀には描かれていなかった南アメリカ大陸で、独自の発展を遂げたインカ帝国の特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. メキシコ高原を中心に、巨大なピラミッド型神殿を持つテノチティランを首都として栄えたが、スペイン人に滅ぼされた。 | 2. 大西洋と地中海を結ぶ交易の中継地として、鉄製の武器や馬車を用いることで広大な領土を支配する中央集権国家を築いた。 | 3. アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。 | 4. ユカタン半島を中心に、高度な天文学や数学を発達させ、独自の象形文字や精密な暦を使用する都市国家を形成した。 |
|--|---|---|--|
-
- 問9 古代ローマ帝国では、イエスの教えを信じる人々を当初は迫害していましたが、のちに帝国を統治するうえで民衆の団結を強めるためにキリスト教を公認し、4世紀末には特定の宗教のみを国の宗教として定めました。このように、国家が法律によって特定の宗教を公に認めたものを何といいいますか。 (2020年 鳥根県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|-------|
| 1. 仏教 | 2. 国教 | 3. 民主政治 | 4. 儒教 |
|-------|-------|---------|-------|
-
- 問10 日本の歴史における各時代の特徴と資料の記述として、内容が誤っているものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 旧石器時代には、ナウマンゾウなどを狩るために、石を打ち砕いて作られた打製石器が使用された。 | 2. 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鑄造された。 | 3. 弥生時代には、大陸から金属器が伝わり、銅鐸などの青銅器が主に祭りの道具として用いられた。 | 4. 古墳時代には、有力者の墓の周囲に、家や馬、人物などをかたどった素焼きの土器である埴輪が置かれた。 |
|--|---|---|---|
-
- 問11 西暦1世紀、日本では倭の奴国の王が中国の漢（後漢）から金印を授かったとされる時期において、地中海を囲む広大な領土を支配していたローマ帝国の様子として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。 | 2. 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させようとするルネサンスの動きが広まり、レオナルド・ダ・ヴィンチらが活躍した。 | 3. アテネなどのポリス（都市国家）を中心に、市民が政治に参加する民主政治が最も盛んに行われた。 | 4. メソポタミアにおいて、粘土板に商取引の記録を残すための楔形文字が発明され、高度な文明が築かれた。 |
|--|--|--|---|
-
- 問12 日本の歴史を、社会の仕組みの変化に基づいて大きく4つの時代に区分した場合、1500年頃から1800年代後半までの、織田信長・豊臣秀吉による統一政策や江戸幕府の支配が行われていた時代を何と呼びますか。 (2021年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|-------|----------|
| 1. 近代・現代 | 2. 近世 | 3. 中世 | 4. 原始・古代 |
|----------|-------|-------|----------|
-
- 問13 日本の原始・古代における4つの代表的な資料（打製石器、青銅器、埴輪、和同開珎）を、出現した時期が古いものから順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 1. 青銅器 → 打製石器 → 埴輪 → 和同開珎 | 2. 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎 | 3. 打製石器 → 青銅器 → 和同開珎 → 埴輪 | 4. 打製石器 → 埴輪 → 青銅器 → 和同開珎 |
|---------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 ナイル川が定期的に氾濫する時期を予測し、農作業の計画を立てる必要があったため	古代エジプトでは、ナイル川が毎年ほぼ決まった時期に氾濫し、周囲に肥沃な土壌を残していく性質を利用して農業が行われました。この氾濫の時期を正確に知ることは、種まきなどの農作業の予定を立てる上で不可欠だったため、天体観測に基づいた太陽暦が発達しました。ピラミッドは王の墓であり、建設と暦の関係はこの選択肢の文脈には当てはまりません。
問2	答え 1 大河の氾濫を防ぐための治水や灌漑によって農業生産力が高まり、王などの支配者が現れて神殿を築き、記録のために文字を使用した。	大河の周辺では、定期的な氾濫によって運ばれる肥沃な土壌を利用した農耕が可能でしたが、大規模な治水や灌漑を行うには多くの人々を組織化する強力な指導者が必要でした。こうして誕生した国家の王は、自らの権力を示すために神殿や宮殿を建設し、徴税や行政の記録、法律の公布などの必要性から文字を発明して使用しました。
問3	答え 4 ヘレニズム文化であり、法隆寺の金堂に描かれた壁画	紀元前4世紀のアレクサンドロス大王の遠征をきっかけに、ギリシャの文化が東方のオリエント文化と融合してヘレニズム文化が誕生しました。この文化はシルクロードを通して東アジアまで伝わり、日本の飛鳥文化にも影響を与えました。法隆寺金堂壁画に見られる豊かな肉体表現などは、その代表的な事例として知られています。
問4	答え 3 新井白石	江戸時代中期の儒学者である新井白石は、儒教的な合理主義に基づいて歴史を考察しました。『読史余論』では、朝廷から武家へと政治の実権が移り変わる過程を論理的に整理しており、単なる出来事の羅列ではなく、歴史の因果関係を解き明かそうと試みました。
問5	答え 2 大河からもたらされる良質な粘土を板状にし、鋭い線の組み合わせによる文字を刻んだ。	メソポタミア文明が誕生した地域は、チグリス川・ユーフラテス川の氾濫によって堆積した肥沃な土壌が特徴です。石材や紙の原料が手に入りにくかった一方で、豊富に存在する泥（粘土）を記録媒体として活用する知恵が生まれました。この粘土板にくさび状の跡をつけることで、天体の観測記録やハンムラビ法典などの法規、商業取引の記録などが後世に残されることとなりました。
問6	答え 2 くさび形文字	メソポタミア文明では、周囲で入手しやすかった粘土を板状にし、そこに葦の茎を削ったペンで文字を刻みました。その刻み跡が「くさび（V字型の道具）」のような形をしていたため、この名称と呼ばれます。この文字は、後にバビロニアのハンムラビ王が法典を石柱に刻む際にも使用されました。
問7	答え 1 太陽暦と神聖文字（ヒエログリフ）	ナイル川の氾濫はエジプトの農業に不可欠であり、その時期を正確に知るために太陽の動きを基にした太陽暦が作られました。この暦は後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。また、ピラミッドや神殿の壁面に刻まれた文字は、象形文字の一種である神聖文字（ヒエログリフ）と呼ばれます。選択肢にある太陽暦と楔形文字はメソポタミア文明、甲骨文字は中国文明の特徴です。
問8	答え 3 アンデス山脈の厳しい自然環境に適応するため、高地の斜面に段々畑を造り、高度な石造技術を用いた都市を建設した。	インカ帝国は標高の高いアンデス山脈に位置していたため、限られた土地を有効に活用する段々畑の技術や、地震にも耐えるほど精巧な石造建築が特徴です。メキシコ高原で栄えたのはアステカ文明、ユカタン半島で栄えたのはマヤ文明であり、地理的条件や文明の特色によって明確に区別されます。
問9	答え 2 国教	ローマ帝国は広大な領土と多様な民族を支配するために、当初は皇帝を神として崇拝することを強要し、それを拒むキリスト教徒を弾圧しました。しかし、社会不安が増大する中でキリスト教が急速に広まったため、帝国を維持・統合する手段としてこれを利用する方針に転換しました。その結果、テオドシウス帝の時代にキリスト教以外の宗教を禁止し、国の宗教としての地位を確立させました。
問10	答え 2 平安時代には、律令国家としての体制を整え、平城京の建設費用をまかなうために和同開珎が鑄造された。	和同開珎が鑄造されたのは、平安時代ではなく奈良時代（708年）のことです。当時の政府は、平城京への遷都や建設の費用に充てる目的、そして貨幣を流通させることで国家の権威を示す目的でこれを発行しました。旧石器時代の打製石器、弥生時代の青銅器、古墳時代の埴輪に関する記述は、それぞれの時代の特色を正しく表しています。
問11	答え 1 広大な領土を統治するために、軍隊の移動を支える道路網や、都市生活に不可欠な水道などの公共施設が整備された。	西暦1世紀頃のローマ帝国は「パクス・ロマーナ（ローマの平和）」と呼ばれる最盛期にありました。広大な帝国全域に張り巡らされた「ローマの道」は軍隊の迅速な派遣を可能にし、都市部では高度な土木技術を用いて水道橋などの公共インフラが建設されました。メソポタミアの楔形文字やギリシャの民主政治は紀元前の出来事であり、ルネサンスは14世紀以降の出来事であるため、時期が一致しません。
問12	答え 2 近世	日本の歴史区分において、戦国時代の終焉から明治維新までの期間は「近世」に分類されます。この時期は兵農分離が進み、幕藩体制という統一的な政治組織が確立されたことが大きな特徴です。500年頃までの「原始・古代」、武士の台頭が見られる1000年頃からの「中世」と区別されます。
問13	答え 2 打製石器 → 青銅器 → 埴輪 → 和同開珎	日本の歴史において、まず旧石器時代に石を打ち欠いて作った打製石器が使われました。次に、弥生時代になると大陸から稲作とともに青銅器などの金属器が伝わりました。その後、古墳時代には古墳の周囲に並べるための埴輪が作られるようになり、奈良時代に入ると律令国家の形成に伴い、唐の貨幣になった和同開珎が鑄造されました。この変遷は、生産技術の向上や国家体制の整備の過程を反映しています。